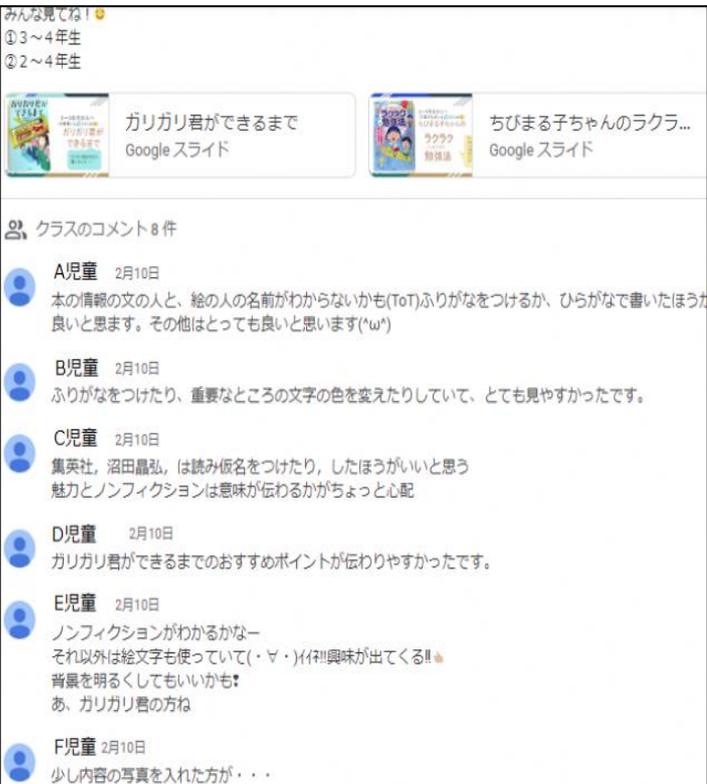


1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	井原市立出部小学校	実践者名	松尾 涼児
教科等	国語科	学年	第5学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
育成したい 資質・能力	複数の本や文章を読み比べながら、推薦したい本の内容や特徴を基にして、自分の考えをまとめることができる。		
単元・内容等	「この本、おすすめします」		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	毎日3時間程度端末を活用した授業を行っている。休憩時間も端末を活用し、調べ学習等に取り組む児童が多い。		
活用の概要 (使用アプリ名を含む)			
<p>(1) めあてをつかむ。</p> <p>(2) Classroomに、本のおすすめ記事を投稿する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの記事を読む。 友達の記事に感想やアドバイス等のコメントをつける。 <p>(3) 自身の記事をさらに分かりやすい記事にする方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達からもらったアドバイスを参考にしながら、自身の記事を良くする方法を検討する。 <p>(4) 本時のまとめをする。</p>			
 <p>The screenshot shows a Classroom post titled 'みんな見てね!' with two target groups: '① 3～4年生' and '② 2～4年生'. It features two Google Slides: 'ガリガリ君ができるまで' and 'ちびまる子ちゃんのラクラク'. Below are 8 class comments from students A through F, dated February 10th, discussing the book 'ガリガリ君' and its non-fiction aspects.</p>			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
デジタルとアナログのバランスが大切だと感じた。今後は、児童自身が自身の必要感で端末を活用する選択ができるように働きかけていきたい。		(児童の様子) 普段から端末活用に慣れている児童が多く、スムーズに学習を進めることができていた。ほとんどの児童が「友達からのアドバイスが参考になった。」「自分の記事がさらに分かりやすくなった。」と振り返ることができていた。	